

## 第8章 地区別計画

小平市では市内及び近隣の駅の周辺を中心にして、7地区の生活圏が形成されています。この7地区別に、商業・業務機能の強化、文化施設の整備、公共交通機能の整備などの計画を、小平市都市計画マスタープランに基づいて進めています。みどりの基本計画も、上位関連計画との整合を図るために、この7地区別に計画を進めていきます。

みどりの将来像を実現していくには、7つの地区のみどりの特徴を活かしながらかちづくりを進めていく必要があります。このため、地区別計画ではみどりの特性を整理し、目標、テーマ、みどりの方針及び将来イメージについて設定しました。なお、目標及びテーマは、小平市共通のものであるため、小平市都市計画マスタープランと同じ内容です。また、みどりの方針と将来イメージに示した項目の順番は、優先順位や重要度の順を表すものではありません。

地区区分は、次のとおりです。

小川駅周辺地区  
花小金井駅周辺地区  
小平駅周辺地区  
鷹の台駅周辺地区  
一橋学園駅周辺地区  
新小平駅・青梅街道駅周辺地区  
東大和市駅周辺地区

※順番は、原則として駅の設置年次の古い順です。



図 8-1 地区区分図

# 1 小川駅周辺地区

## (1) 特性

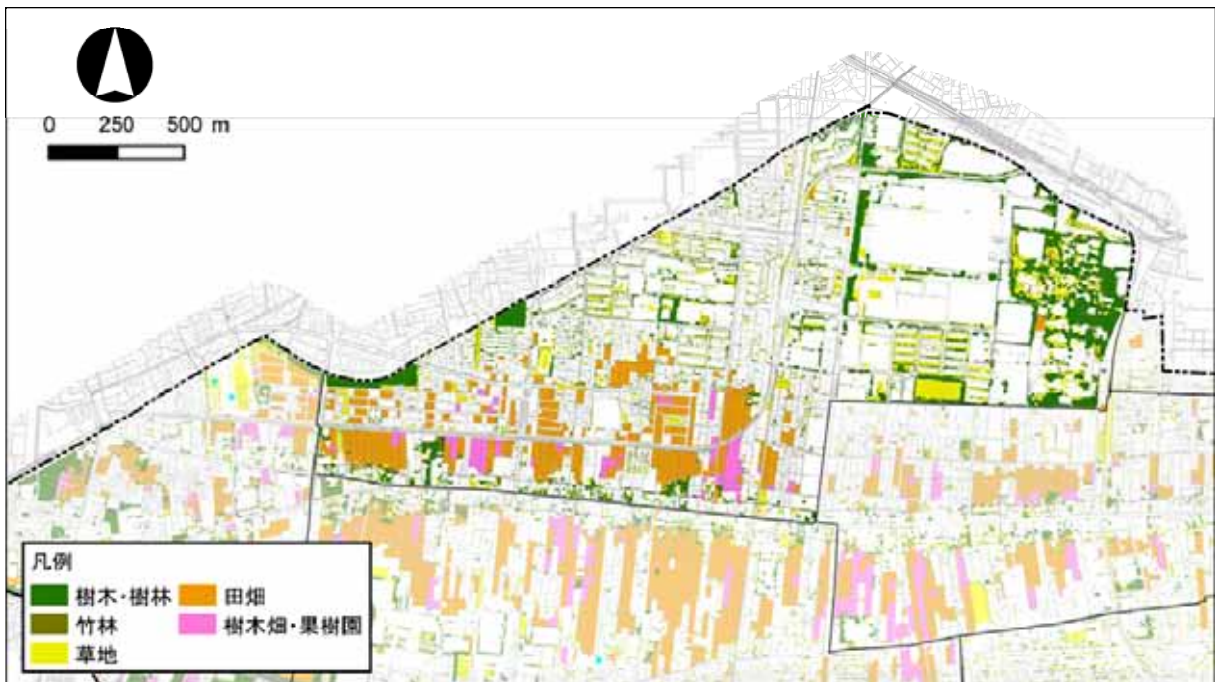
小川駅東側には、ブリヂストン東京工場を中心とした工場団地が形成されており、団地内に住居、体育館、運動場等が整備されたひとつの居住区が形成されています。さらに、地区の東端には国立精神・神経センターがあり、小平元気村おがわ東、萩山公園と一体となった緑地空間を形成しています。

地区北側の野火止用水沿いのまとまった雑木林は、小平グリーンロードとして市民の散策や憩いの場として利用されています。この付近は低層住宅と農地が共存しており、地区南側の西武鉄道拝島線と青梅街道の間には、南北に長く地割された短冊形の農地、屋敷林、小川用水、小平神明宮といった、新田開発の歴史をとどめる郷土的な環境資源が見られます。

緑被率は **30.2%** であり、樹木・樹林は比較的安定した土地利用上にあります。今後は、緑被地のうち **3 割程度** を占める農地の減少が見込まれることから、新しいみどりの創出が望まれます。都市公園等では、プールのある萩山公園をはじめ **30 箇所 5.6ha** の公園があり、身近なところに公園があります。

### 主なみどりの資源

拠点となるみどり	国立精神・神経センター、野火止用水沿いの雑木林、萩山公園
みどりの軸線	青梅街道、野火止用水、府中街道
用水路	小川用水
公園など	小川西町地域センター公園、小川東第4公園、九道の辻公園、小平元気村おがわ東、栄町記念公園、さくら公園、森林公園、たんぼぼ公園、西町富士見公園、野火止公園など
社寺境内地のみどり	小平神明宮
その他特徴的なみどり	青梅街道沿いの屋敷林と農地



(承認番号) 21 都市基交第 524 号

図 8-2 小川駅周辺地区の緑被現況 (平成 18 年)

## (2) テーマと目標

---

### 「緑・福祉と活況の創出」

自立性の高い都市をめざす新たな産業拠点の形成とともに「九道の辻公園」や「野火止用水」、「迷いの桜」などの名勝やみどりのうるおいのある環境と多くの福祉施設の立地を背景として、子どもから高齢者・障がい者等あらゆる人々がうるおいとゆとりを持って都市生活を送ることができるまちづくり。

## (3) みどりの方針と将来イメージ

---

### 水と緑のネットワーク

---

- 野火止用水のみどりの育成と、公園の再整備などを行って、快適なみどり空間を維持していきます。
- 小平グリーンロードを南北に結ぶネットワーク形成のために府中街道をみどりの骨格と位置づけ、道路の緑化について東京都と調整を行うとともに、沿道の緑化を推進します。
- ブリヂストン東京工場の住居地区から国立精神・神経センターにかけてのみどり豊かな区間は、道路の緑化と沿道部の緑化の推進を図ります。
- 道路の緑化と用水路の親水緑道化などを図り、有機的なネットワークの形成を図ります。

### みどりの保全

---

- 青梅街道沿いの屋敷林の保全と郷土景観の保全について検討を行います。
- 青梅街道沿いの風致地区については、東京都風致地区条例に基づき、良好な風致を維持することに努めます。
- 小平神明宮の社寺林の保全に努めます。
- まとまりのある農地は保全に努めるとともに、市街化が図られる際には都市計画と連携して良好なみどりのまちなみが形成されるように誘導していきます。
- ブリヂストン東京工場の住居地区や国立精神・神経センターなどみどりの多い地区は、その良好なみどりの環境の維持・向上に努めます。
- 野火止用水沿いの雑木林は、武蔵野らしさを感じさせる雑木林として維持・再生を図ります。

### みどりの創出と育成

---

- 学校、企業グラウンド、みどりの多い施設などは、保全とともに身近に利用できるように、その開放等について要請していきます。
- 小川駅西口で予定されている市街地再開発事業等では、地区計画制度等の活用による緑化の推進や計画的な緑地の整備に努めます。
- 地区内に点在する公共施設の緑化とともに、花とみどりにあふれた道路空間の整備、駅前や商店街の緑化の推進に努めます。
- 既成市街地では敷地内にみどりの多い住宅地の特性を活かし、現在の良好なみどりの環境を保全しつつ、さらに生垣など沿道部の緑化の推進を図り、みどりとうるおいのある住宅地の形成を推進していきます。





## 2 花小金井駅周辺地区

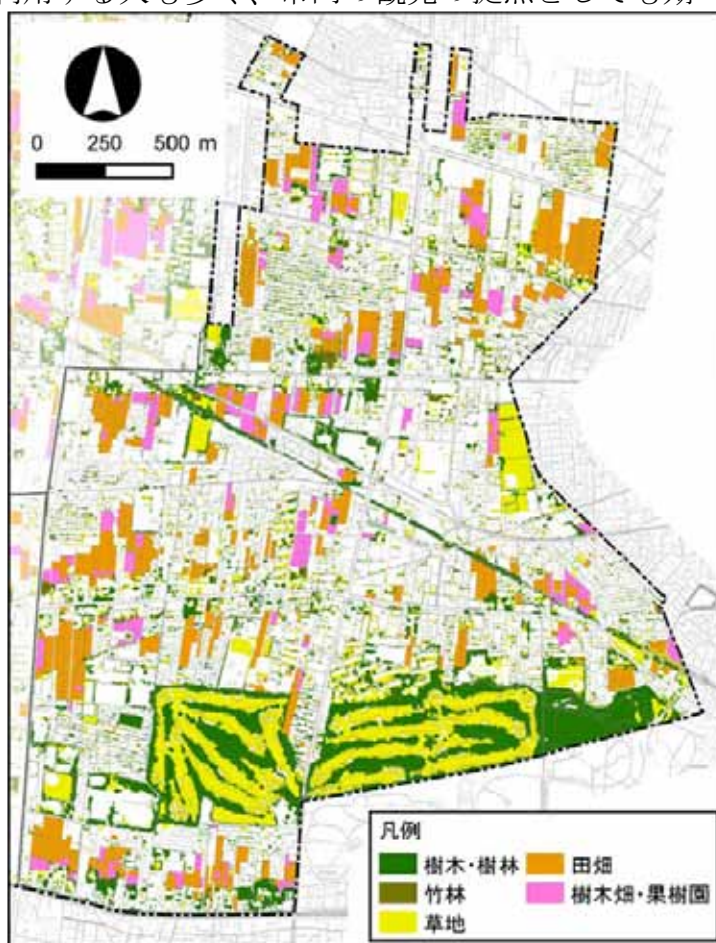
### (1) 特性

花小金井駅周辺地区では、駅南口に続き、駅北口の整備も終わり、新しいまちなみが形成されています。地区の南側には広域公園の都立小金井公園、玉川上水沿いに国名勝「小金井（サクラ）」があるなど、みどりの資源にも恵まれています。

花小金井駅の南側の狭山・境緑道、地区の南端の玉川上水で構成される小平グリーンロードは、東部公園などとともに豊かなみどりの中の快適な散歩道として多くの市民に利用されています。商店街や小平グリーンロードを經由して、都立小金井公園を利用する人も多く、市内の観光の拠点としても期待されています。

鈴木用水、鈴木街道と東京街道沿いの屋敷林は、ともに小平のふるさとの原風景といえるものです。これらの街道の背後には貴重なオープンスペースである一団の農地があり、緑地空間としてうるおいを与えています。

緑被率は、小金井公園、小金井カントリー倶楽部のみどりが多きことから市内で最も高く41.2%です。小金井公園以外に、市民が直接利用できるまとまったみどりが多くはないことが課題です。公園は60箇所約5.5haあり、身近なところに公園がありますが、歩いて5分以内に公園がない区域が一部あります。



(承認番号) 21 都市基交第 524 号

図 8-3 花小金井駅周辺地区の緑被現況（平成 18 年）

#### 主なみどりの資源

拠点となるみどり	小金井カントリー倶楽部、たけのこ公園、東部公園、都立小金井公園
みどりの軸線	青梅街道、狭山・境緑道、新小金井街道、鈴木街道、玉川上水、東京街道
用水路	鈴木用水、関野用水、田無用水、野中用水
公園など	鈴木地域センター公園、花1公園、御幸地域センター公園 など
社寺境内地のみどり	円成院、海岸寺、武蔵野神社
その他特徴的なみどり	青梅街道・鈴木街道・東京街道・玉川上水沿いの屋敷林と農地、国名勝「小金井（サクラ）」、石神井川

## (2) テーマと目標

### 「緑・花とにぎわいの創出」

都立小金井公園や狭山・境緑道の桜並木などの豊かなみどりの環境と生活の中心となる都市空間のもとに、市民が集い、交流するにぎわいのなかで、四季折々の花や自然、新鮮な情報、新しい仲間と出会う期待感でときめくことのできるまちづくり。

## (3) みどりの方針と将来イメージ

### 水と緑のネットワーク

- 小平グリーンロードに近接している小平ふるさと村、たけのこ公園付近は、市を代表するみどりの拠点のひとつとして情報発信機能の強化を図ります。
- みどりの骨格である小平グリーンロードの緑化の促進や現在のみどりの環境を維持し、近接する公園の再整備等を図り、快適な歩行者空間として充実を図ります。
- 道路の緑化と用水路の親水緑道化などを図り、有機的なネットワークの形成を図ります。

### みどりの保全

- 玉川上水沿いの桜並木は、大切な歴史的資産として、東京都と連携して貴重なみどりの保全を図ります。
- 鈴木街道沿いの屋敷林の保全と郷土景観の保全方策について検討を行います。
- 青梅街道の屋敷林、東京街道沿いの屋敷林と郷土的な生垣は、地区の貴重なみどりとしてその保全に努めます。
- 青梅街道、東京街道、鈴木街道及び玉川上水沿いの風致地区については、東京都風致地区条例に基づき、良好な風致を維持することに努めます。
- まとまりのある農地は保全に努めるとともに、市街化が図られる際には都市計画と連携して良好なみどりのまちなみが形成されるように誘導していきます。
- 地区内に点在する雑木林は、ふるさとのみどりとして保全を図るとともに、武蔵野らしさを感じさせる雑木林として維持・再生を図ります。
- 海岸寺や武蔵野神社の社寺林の保全に努めます。

### みどりの創出と育成

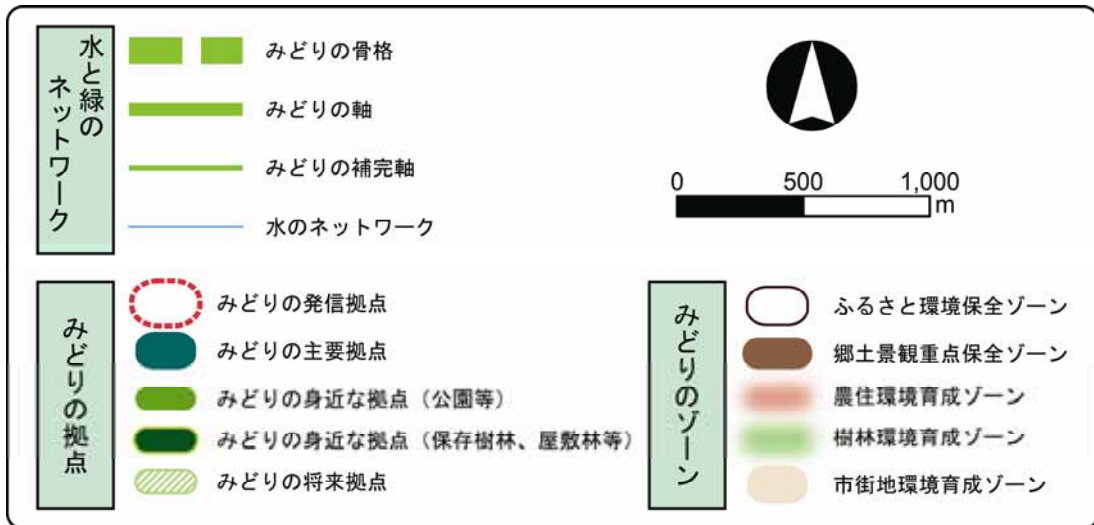
- 新小金井街道は、みどりの骨格を南北に結ぶみどりの軸として、東京都と連携を図りながら道路の緑化と沿道の緑化を推進します。
- 市民とともに地区外からの来訪者の利用も多い商店街は、商工会等と協働で緑化を進め、美しく快適な環境の創出を行います。
- 都立小金井公園の整備の促進について、東京都に要請していきます。
- 学校や企業のグラウンドなどについて、市民が身近に利用できるように、その開放等について要請していきます。
- 一団地の住宅施設等の再開発などについては、事業者と緑地協定を締結するなど、公園や緑地の確保について努めていきます。
- 既成市街地では敷地内のみどりの多い住宅地の特性を活かし、現在の良好なみどりの環境を保全しつつ、さらに生垣など沿道部の緑化の推進を図り、みどりとうるおいのある住宅地の形成を推進していきます。



# 花小金井駅周辺地区の将来イメージ



(承認番号) 21 都市基交第 524 号



### 3 小平駅周辺地区

#### (1) 特性

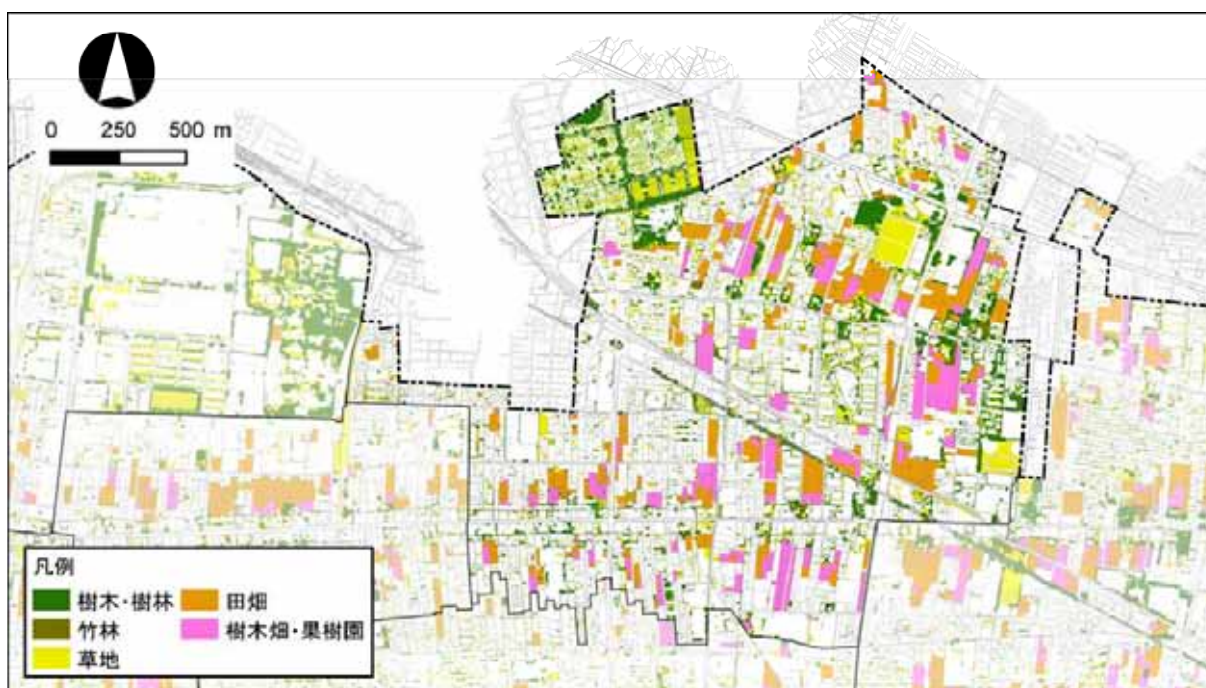
市北部の商業・文化の中心地として、商業機能の拡充と芸術文化の拠点づくりの整備が期待されている地区です。青梅街道、東京街道の屋敷林をはじめ、都立小平霊園などの歴史あるみどり豊かな環境があるとともに、小平グリーンロードの狭山・境緑道が小平駅前と花小金井駅前とを結んでいます。地区東端には、みどりの発信拠点として中心的な役割を持つ小平ふるさと村、小平グリーンロード親水公園があり、観光面からもこれらの施設を活かした情報の発信等が行われています。小平駅前にはあかしあ通りの基点となっており、玉川上水へと結ぶみどりの骨格としての機能が期待されています。

小平駅近く以外は低層住宅地が広がり、東京街道以北にはまとまった農地があります。東京街道・青梅街道沿いには、小平のふるさとの原風景を伝える屋敷林がありますが、青梅街道沿いでは減少が進んでいます。

緑被率は33.3%と平均的ですが小平駅周辺はみどりが少ないことから、みどりの創出を進めていくことが望まれます。公園は、街区公園などが52箇所4.5haあり、身近なところに公園があります。

#### 主なみどりの資源

拠点となるみどり	小平グリーンロード親水公園、小平ふるさと村、都立小平霊園
みどりの軸線	あかしあ通り、青梅街道、狭山・境緑道、新小金井街道、東京街道
用水路	大沼田用水、小川用水、野中用水
公園など	旭の森公園、あじさい公園、大沼公園、大沼地域センター公園、かきの木公園、風見の丘公園、天神じゃぶじゃぶ公園、天神地域センター公園、仲町第2公園、七小東公園、六中西公園 など
社寺境内地のみどり	延命寺、大沼稻荷神社、熊野宮、泉蔵院、多摩野神社
その他特徴的なみどり	青梅街道・東京街道沿いの屋敷林と農地、FC東京グラウンド



(承認番号) 21 都市基交第 524 号

図 8-4 小平駅周辺地区の緑被現況 (平成 18 年)



## (2) テーマと目標

---

### 「緑・芸術文化とときめきの創出」

狭山・境緑道や東京街道、都立小平霊園等のみどりあふれる豊かな自然環境と市の芸術文化創造の中心としてのルネこだいらを背景として、市民と文化とのふれあいときめき、その文化を通じて地域に集う人々がふれあうことができるまちづくり。

## (3) みどりの方針と将来イメージ

---

### 水と緑のネットワーク

---

- 小平グリーンロードに近接している小平ふるさと村、小平グリーンロード親水公園付近は、小平を代表するみどりの拠点のひとつとして情報発信機能の強化を図ります。
- みどりの骨格である小平グリーンロードの緑化の促進や今あるみどりの環境を維持し、近接する公園の再整備等を図り、快適な歩行者空間として充実を図ります。
- 小平グリーンロードを南北に結ぶネットワーク形成のために、あかしあ通りをみどりの骨格と位置づけ、駅前広場の整備、豊かな並木の形成、沿道の緑化、用水路の再整備等を積極的に推進します。
- 道路の緑化と用水路の親水緑道化などを図り、有機的なネットワークの形成を図ります。

### みどりの保全

---

- 東京街道沿いの屋敷林の保全と郷土景観の保全方策について検討を行います。
- 東京街道及び青梅街道沿いの風致地区については、東京都風致地区条例に基づき、良好な風致を維持することに努めます。
- 地区内にある屋敷林は、地区の貴重なみどりとしてその保全に努めます。
- まとまりのある農地は保全に努めるとともに、市街化が図られる際には都市計画と連携して良好なみどりのまちなみが形成されるように誘導していきます。
- 地区内に点在する雑木林は、ふるさとのみどりとして保全を図るとともに、武蔵野らしさを感じさせる雑木林として維持・再生を図ります。

### みどりの創出と育成

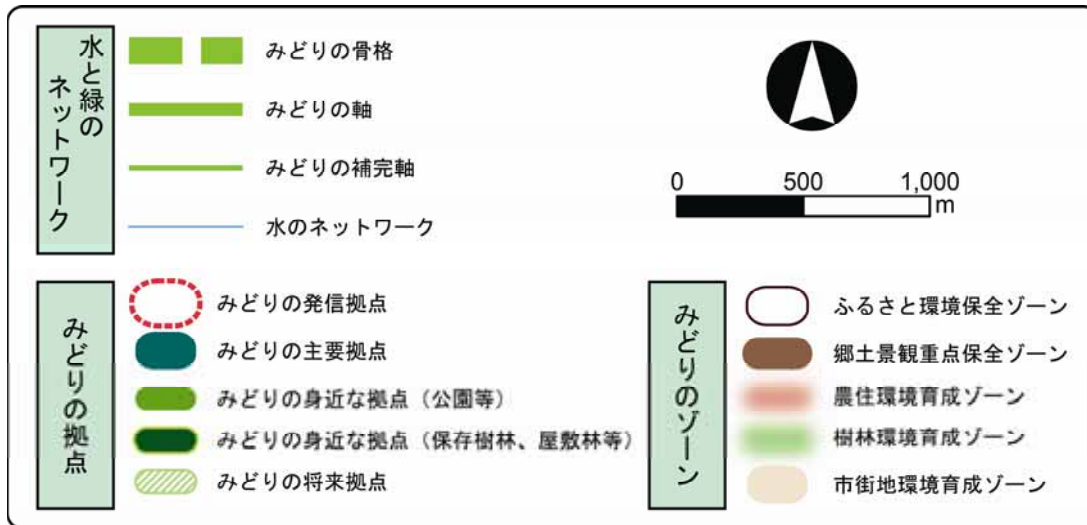
---

- 新小金井街道は、みどりの骨格を南北に結ぶみどりの軸として、東京都と連携を図りながら道路の緑化と沿道の緑化を推進します。
- 学校や企業のグラウンド、みどりの多い大規模な施設などについて、市民が身近に利用できるように、その開放等について要請していきます。
- 小平駅南口では小平グリーンロードとあかしあ通りが交差しており、シンボリックな空間として、公共施設の緑化、花とみどりにあふれた道路空間の整備、住宅地や商店街の緑化の推進に努めます。
- 中高層建物の壁面緑化、ベランダ緑化や屋上緑化、低層住宅地の沿道部の緑化などを推進し、みどり豊かな環境の形成を進めます。

# 小平駅周辺地区の将来イメージ



(承認番号) 21 都市基交第 524 号



## 4 鷹の台駅周辺地区

### (1) 特性

最もまとまった農地が広がる地区で、特に小川寺から西の付近は、青梅街道沿いの屋敷林、農地、用水路といった、新田開発の歴史を伝える小平のふるさとの原風景が残っています。玉川上水近くには津田塾大学、武蔵野美術大学等の学校施設が多く立地しており、学校のみどりの多さとともに落ち着いた文教ゾーンを形成しています。

小平グリーンロードである玉川上水と、それに沿う新堀用水は、市民の散策やいこいの場として貴重な自然環境を形成しており、玉川上水に接する中央公園とともに自然とのふれあいやスポーツ・レクリエーションの中心的な拠点となっています。

農地とともに中央公園、学校等のみどり豊かな大規模施設が多いこともあり、緑被率は39.2%とみどりに恵まれています。緑被地のうち約5割が農地ですが、ほとんどが生産緑地地区として保全が図られています。都市公園等は40箇所9.5haあり、新たに小川町一丁目土地区画整理事業地内に公園や緑地が整備される予定です。

#### 主なみどりの資源

拠点となるみどり	上水公園、玉川上水の雑木林、中央公園
みどりの軸線	青梅街道、玉川上水
用水路	小川用水、新堀用水、砂川用水
公園など	大げやき道公園、小川緑地、上水本町第1公園、松ヶ丘公園 など
社寺境内地のみどり	上鈴木稲荷神社、小川寺、日枝神社
その他特徴的なみどり	まとまった短冊形の農地、青梅街道・玉川上水沿いの屋敷林、津田塾大学



(承認番号) 21 都市基交第 524 号

図 8-5 鷹の台駅周辺地区の緑被現況 (平成 18 年)



## (2) テーマと目標

### 「緑・美術と若さの創出」

玉川上水や中央公園等のみどり豊かな自然環境のもとに、スポーツや芸術活動、学園生活をとおして、地域内に集う学生、市民と地域住民がふれあう、若さあふれるまちづくり。

## (3) みどりの方針と将来イメージ

### 水と緑のネットワーク

- みどりの骨格である小平グリーンロードは、南部の拠点として玉川上水の豊かなみどりと水辺の環境の維持・拡充を図り、市民が自然とふれあう、うるおいの空間として維持していきます。
- 青梅街道沿いの屋敷林、用水路、農地は、郷土景観を伝えるものとして、その保全手法について検討を行います。
- 青梅街道・小川用水沿いの「たから道」（小川用水にほぼ沿う<sup>りどう</sup>里道）を、ふるさとの風景を楽しみながら散策できる水と緑のネットワークとして、その保全と整備に努めます。
- 上水公園付近の新堀用水は、公園と一体となった親水整備を行います。
- 都市計画道路である府中街道（都道）をみどりの骨格に位置づけ、中央公園と一体となるみどり豊かで快適な空間を形成するように、東京都と協議・調整を行います。

### みどりの保全

- 小川町一丁目土地区画整理事業により、玉川上水沿いの樹林地を小平グリーンロードとの一体性を持たせた都市公園として保全します。
- 青梅街道沿いの大けやきや小川寺を含む区域は、その保全と郷土景観の保全方策について検討を行います。
- 青梅街道及び玉川上水沿いの風致地区については、東京都風致地区条例に基づき、良好な風致を維持することに努めます。
- 地区内にある屋敷林は、地区の貴重なみどりとしてその保全に努めます。
- 大規模施設と一体となった樹林地等については、その維持と保全について、管理者等へ要請を行います。
- 良好な一団の農地については、都市内に残された貴重な空間として、緑地空間やオープンスペースの保全に努めます。

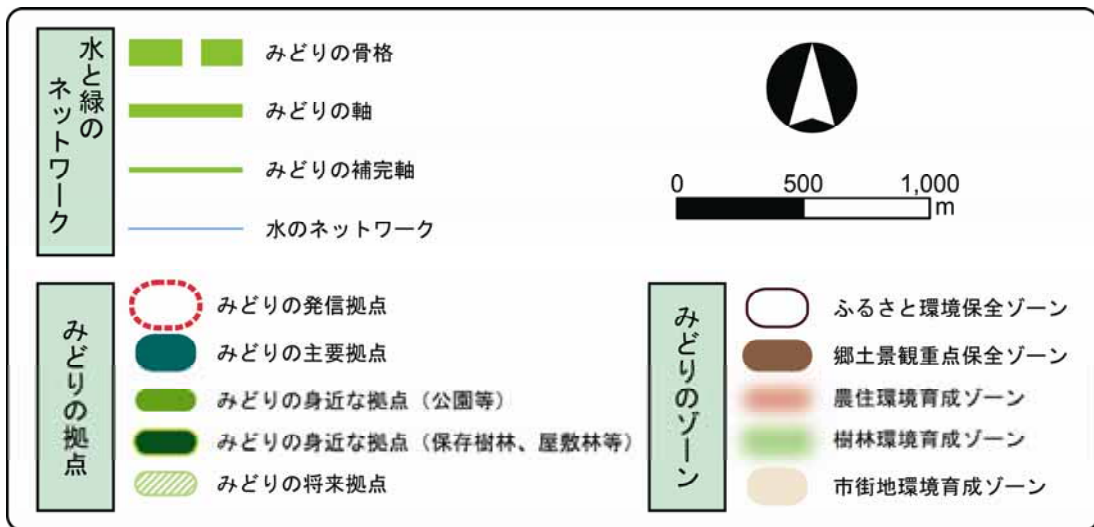
### みどりの創出と育成

- 市街化等にあたっては、適切に緑地や公園が確保されるよう努めます。
- 鷹の台駅は市外からの小平グリーンロードの利用に便利であるため、駅前の商業地や公園等を含む一帯の地区を観光拠点としての魅力が形成できるように、緑化の推進やみどりの創出を図ります。
- みどりの多い大学等の施設について保全とともに身近に利用できるように、その開放等について要請していきます。
- 既成市街地では敷地内のみどりの多い住宅地の特性を活かし、現在の良好なみどりの環境を保全しつつ、さらに生垣など沿道部の緑化の推進を図り、みどりとうるおいのある住宅地の形成を推進していきます。

# 鷹の台駅周辺地区の将来イメージ



(承認番号) 21 都市基交第 524 号



## 5 一橋学園駅周辺地区

### (1) 特性

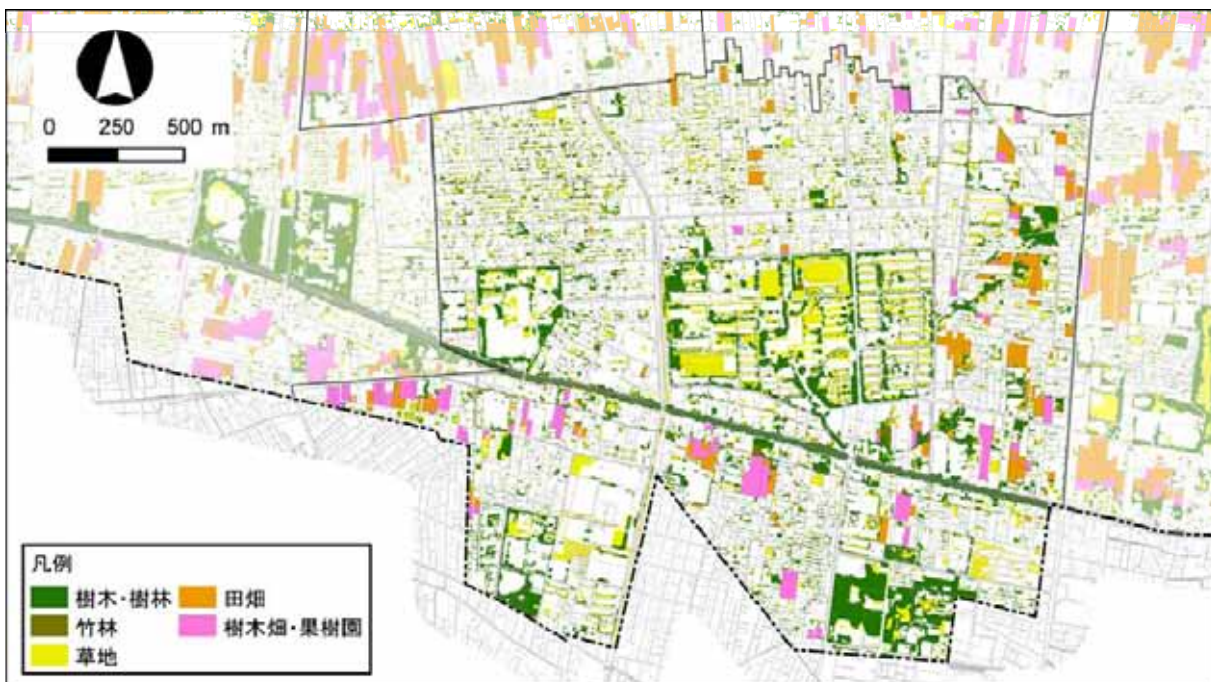
一橋学園駅付近に商業・業務機能が集まり、その周辺に低層住宅地が広がり成熟した市街地が形成されています。玉川上水の北には国土交通大学校、関東管区警察学校、陸上自衛隊小平駐屯地、一橋大学小平国際キャンパス、小平団地が、南には独立行政法人情報通信研究機構総合研究所、農業・食品産業技術総合研究機構動物衛生研究所、社会福祉法人東京サレジオ学園といった、みどりの多い大規模施設が多く立地しています。

小平グリーンロードである玉川上水と、それに沿う新堀用水は、市民の散策やいこいの場として貴重な自然環境を形成しています。交差するあかしあ通りの関東管区警察学校・小平団地に接する区間は、豊かに育った樹木が小平グリーンロードと一体となって快適な歩行空間を形成しています。

この地区は緑の多い大規模な施設がありますが住宅地内のみどりは少なく、緑被率は市内で最も低く **27.8%**です。土地利用の主体である住宅地内でのみどりの創出が望まれる地区です。都市公園等は **74 箇所 7.9ha** あり、身近なところに公園があります。

#### 主なみどりの資源

拠点となるみどり	けやき公園、玉川上水の雑木林、福祉会館付近の広場と樹林
みどりの軸線	あかしあ通り、鈴木街道、玉川上水
用水路	大沼田用水、新堀用水、鈴木用水、砂川用水、田無用水
公園など	学園野鳥公園、恵泉通り東公園、上水本町こぶし公園、上水本町地域センター公園、上水南ジャブジャブ公園、鈴木町親水公園、つつじ公園、仲町第2公園、みよし公園、回田けやき公園、四小東公園 など
社寺境内地のみどり	上水南稲荷神社、鈴木稲荷神社、大仙寺、宝寿院
その他特徴的なみどり	鈴木街道・玉川上水沿いの屋敷林と農地、国名勝「小金井(サクラ)」、関東管区警察学校正門前の桜並木、小平団地のイチョウ並木、大規模施設のみどり



(承認番号) 21都市基交第524号

図 8-6 一橋学園駅周辺地区の緑被現況(平成18年)



## (2) テーマと目標

---

### 「緑・生活と交流の創出」

みどり豊かな良好な居住環境を保全しながら、地域内に立地する市の中心的教育、行政施設等を活かし、市の業務の中心地としての顔づくりや各施設へ通う人々や地域の人々が、日常生活の中で、交流し語り合うことができるまちづくり。

## (3) みどりの方針と将来イメージ

---

### 水と緑のネットワーク

---

- みどりの骨格である小平グリーンロードは、玉川上水の豊かなみどりと水辺の環境の維持・拡充を図り、市民が自然とふれあう、うるおいの空間として維持していきます。
- あかしあ通りは、みどりの骨格としてみどり豊かで快適な歩行者空間を形成するとともに、関東管区警察学校や小平団地のみどりと一体となった道路の緑化を推進します。
- 道路の緑化と用水路の親水緑道化などを図り、有機的なネットワークの形成を図ります。

### みどりの保全

---

- 鈴木街道沿いの屋敷林の保全と郷土景観の保全方策について検討を行います。
- 玉川上水沿いの風致地区については、東京都風致地区条例に基づき、良好な風致を維持することに努めます。
- 地区内にある屋敷林は、地区の貴重なみどりとしてその保全に努めます。
- 大規模施設と一体となった樹林地等については、その維持と保全について、管理者等へ要請を行います。
- 関東管区警察学校、小平団地の豊かな樹林や並木はその保全に努め、あかしあ通りと一体となる緑化や整備の手法を検討していきます。

### みどりの創出と育成

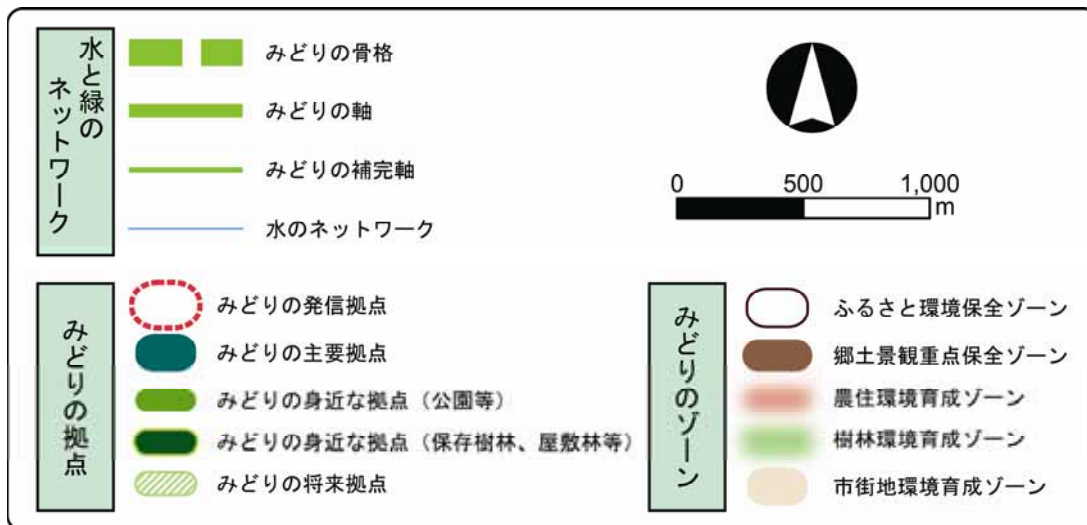
---

- 都市計画公園の整備促進について検討します。
- 一橋学園駅は一橋大学国際キャンパスや国土交通大学校など市外からの来訪者が多く利用する駅であり、駅周辺の空間を活かしながら道路の緑化を推進し、教育施設が多い地区にふさわしい雰囲気づくりをめざします。
- 地区北側には市民が多く利用する市役所等の行政サービスの拠点があることから、鉄道沿いの道路の緑化と沿道の緑化を推進し、快適な歩行空間とみどりの帯の形成をめざします。
- 市民とともに地区外からの来訪者の利用も多い商店街は、商工会等と協働で緑化を進め、美しく快適な環境の創出を行います。
- 大規模施設の緑地やグラウンドについて、市民が身近に利用できるようにその開放等について要請していきます。
- 住宅地での沿道部の緑化を積極的に推進し、みどり豊かな住環境のさらなる創出と、静かで落ち着いた環境の形成をめざします。

# 一橋学園駅周辺地区の将来イメージ



(承認番号) 21 都市基交第 524 号



## 6 新小平駅・青梅街道駅周辺地区

### (1) 特性

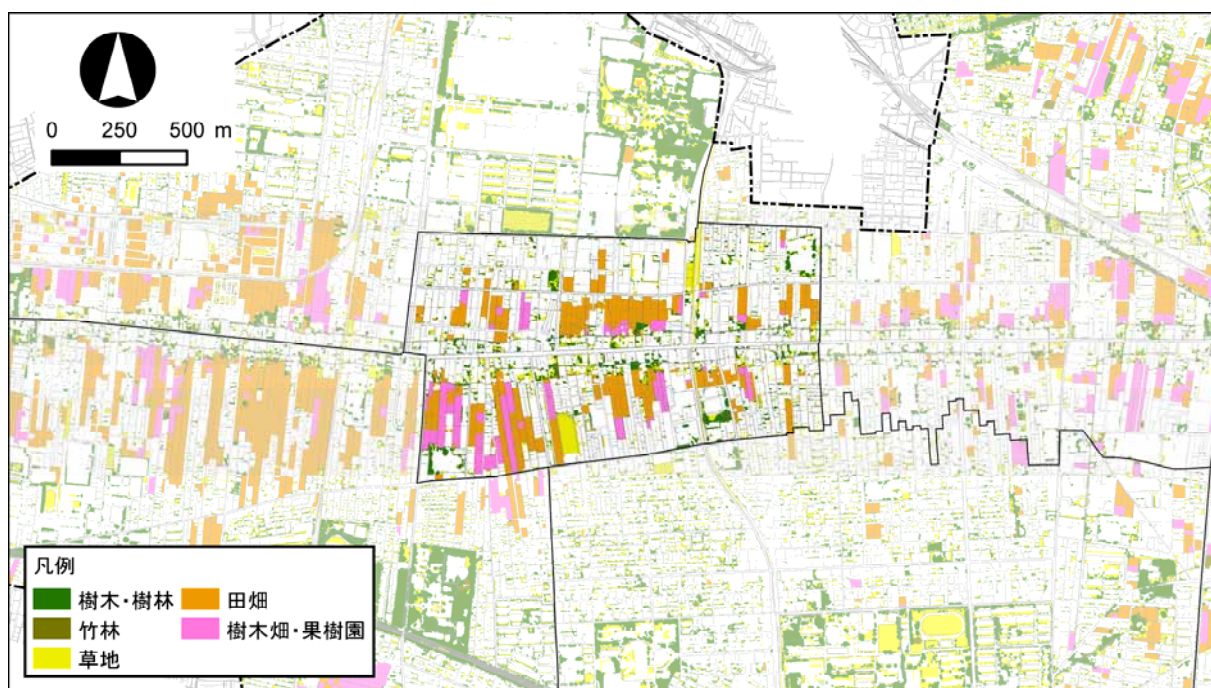
小平市の中央に位置し、市内で最も面積が小さい地区ですが、二つの駅があり、広域的な交通利便性の高い地区です。地区南側には市役所、中央図書館、健康センター、小平警察署等の施設が集中して立地しており、市民の多様な情報要求に対応できる地域情報の発信拠点として期待される地区です。

東西に走る青梅街道の南北には小川用水があり、うるおいをもたらす貴重な水辺空間を提供しています。この青梅街道沿いにある大木、背後の農地とともに、行政機能が集中しながらも郷土的な空間が共存する地区となっています。

緑被率は30.7%と平均的なみどりの量を示していますが、このうち農地の占める割合が約6割と市内で最も高く、農地の土地利用の変化によりみどりの量が大きく変わる可能性が高い地区です。地区面積が小さいことから都市公園等も少なく13箇所0.6haですが、ほぼ歩いて5分以内に公園があります。

#### 主なみどりの資源

拠点となるみどり	市役所付近の広場と樹林
みどりの軸線	青梅街道
用水路	小川用水
公園など	小川町二丁目地域センター公園、会館下公園、鎌倉第1公園、山王公園など
社寺境内地のみどり	平安院
その他特徴的なみどり	青梅街道沿いの一団の樹木と農地



(承認番号) 21 都市基交第 524 号

図 8-7 新小平駅・青梅街道駅周辺地区の緑被現況(平成18年)



## (2) テーマと目標

---

### 「緑・歴史と情報拠点の創出」

市の中央に位置し、市役所等の中枢機能が立地し、高度情報化社会に対応した情報の発信拠点の形成と青梅街道の沿道の豊かな並木や鎌倉街道などの歴史的資産、農地などの貴重な開放空間を活かした歴史やゆとり、くつろぎのあるまちづくり。

## (3) みどりの方針と将来イメージ

---

### 水と緑のネットワーク

---

- 青梅街道沿いの大木など一団の樹木の保全に努めるとともに、小川用水を身近な水と緑のうるおいの空間として武蔵野の面影を残した快適なみどりの居住環境づくりを進めます。
- 地区西端の府中街道の道路の緑化と沿道の緑化を推進し、みどりの骨格を形成します。
- 道路の緑化と用水路の親水緑道化などを図り、有機的なネットワークの形成を図ります。

### みどりの保全

---

- 青梅街道沿いの風致地区については、東京都風致地区条例に基づき、良好な風致を維持することに努めます。
- 青梅街道沿いの一団の樹木の維持・保全を支援します。
- 平安院や鎌倉街道など、地域の歴史のうえで貴重な資源について、その周辺のみどりの環境とともに保全を図ります。
- まとまりのある農地は保全に努めるとともに、市街化が図られる際には都市計画と連携して良好なみどりのまちなみが形成されるように誘導していきます。

### みどりの創出と育成

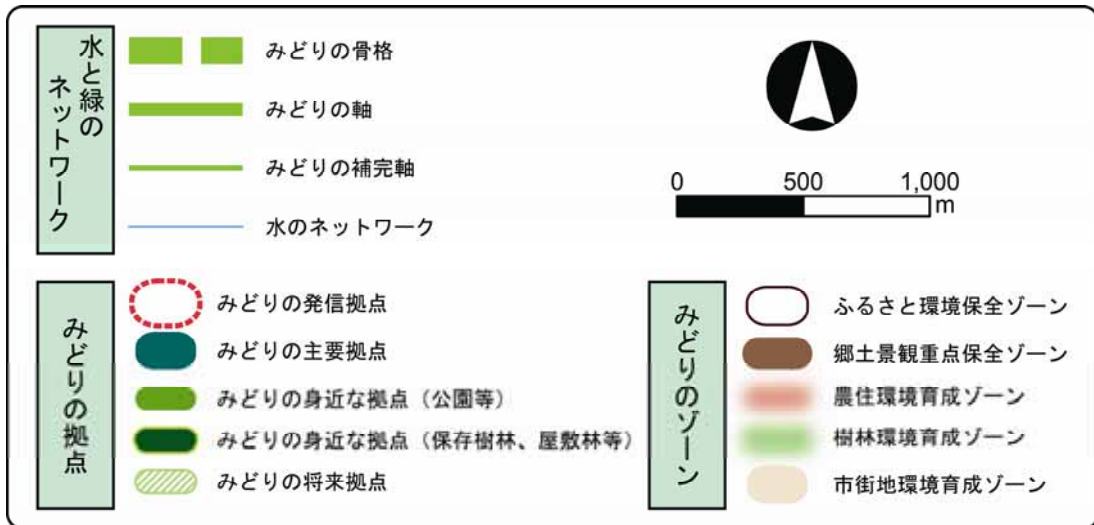
---

- 都市計画公園の整備促進について検討します。
- 市民が多く利用する市役所等の行政サービスの拠点は、公共施設等の緑化を推進し、みどりを大切にする小平を代表するような、みどりの空間づくりをめざします。
- 行政サービス拠点へつながる快適な歩行空間とみどりの帯を形成するために、鉄道沿いの道路の緑化と沿道の緑化を推進します。
- 既に形成されているみどり豊かな住環境の保全を図り、恵まれた郷土的環境を活かしながら、静かで落ち着いた環境の住宅地の形成をめざします。

# 新小平駅・青梅街道駅周辺地区の将来イメージ



(承認番号) 21 都市基交第 524 号



## 7 東大和市駅周辺地区

### (1) 特性

小平市の最も西に位置し、玉川上水と野火止用水に挟まれています。駅付近の東京都薬用植物園から玉川上水にかけては、公園、雑木林、市民の集いの場となっているこもれびの足湯など、ゆったりと歩ける環境があり、小平グリーンロードの西側の基点として、情報発信拠点、観光の拠点となることも期待されています。

玉川上水と野火止用水沿いには、武蔵野の風情を今に伝える雑木林が市内で最も多く残っており、そのほとんどが保存樹林等として保全が図られています。また、立川通り沿いを流れる小川用水は彫刻の谷緑道として整備され、水と緑に親しむ環境づくりが行われています。

青梅街道と立川通り沿いには、高生垣と屋敷林、背後に南北に長く地割された短冊形の農地があり、郷土的な風景を今に伝えています。

樹林地が多いことから緑被率は **34.5%** とやや高く、農地に依存する割合もそれほど高くはないことから、比較的安定したみどりが多い地区です。都市公園等は、他の地区と同様に身近なところに公園があり **23 箇所 2.5ha** あります。南台樹林公園、上水新町地域センター公園、中島地域センター公園といった雑木林型の公園など特色のある公園があります。

#### 主なみどりの資源

拠点となるみどり	玉川上水・野火止用水沿いの雑木林、東京都薬用植物園
みどりの軸線	青梅街道、玉川上水、立川通り、野火止用水、村山街道
用水路	小川用水、新堀用水
公園など	ぐみくぼ公園、上水新町地域センター公園、中島地域センター公園、中島町公園、中島町東公園、中島町南公園、南台樹林公園 など
その他特徴的なみどり	青梅街道沿いの屋敷林と農地、こもれびの足湯



(承認番号) 21 都市基交第 524 号

図 8-8 東大和市駅周辺地区の緑被現況 (平成 18 年)



## (2) テーマと目標

---

### 「緑・水とうるおいの創出」

玉川上水・野火止用水や公園のみどりなどの恵まれた自然環境に囲まれ、生活サービス機能の充実した、日常生活においてうるおいと便利さの感じられるまちづくり。

## (3) みどりの方針と将来イメージ

---

### 水と緑のネットワーク

---

- みどりの骨格である小平グリーンロードの西のみどりの発信拠点として玉川上水、野火止用水の豊かなみどりと水辺の環境の維持・拡充を図り、市民が集い、自然とふれあう、うるおいの空間として維持していきます。
- 玉川上水に沿う新堀用水のうち、小平監視所から中島町南公園付近までの間は、およそ140年前に掘られた、地下を流れるめずらしい用水路の「胎内堀」<sup>たないぼり</sup>（たぬき堀、とも言います。）について、歴史的な資産として保全・活用を図ります。
- 多くの市民の集いの場となっているこもれびの足湯は、拠点を構成する主要な施設として、小平グリーンロードとの連携を強めます。
- 東大和市駅付近から玉川上水方面への周遊性を強化して、利用の促進を図ります。

### みどりの保全

---

- 玉川上水沿いの風致地区については、東京都風致地区条例に基づき、良好な風致を維持することに努めます。
- 玉川上水、野火止用水沿いの雑木林をふるさとのみどりとして保全し、その維持と質の向上を図っていきます。
- このうち、玉川上水沿いの雑木林は、東京都と連携しながら特別緑地保全地区、東京都緑地保全地域等として保全を図ることを検討します。
- 東京都薬用植物園の豊かなみどりを保全するとともに市民が広く利用できるように、その活用について東京都と連携していきます。
- まとまりのある農地は保全に努めるとともに、市街化が図られる際には都市計画と連携して良好なみどりのまちなみが形成されるように誘導していきます。

### みどりの創出と育成

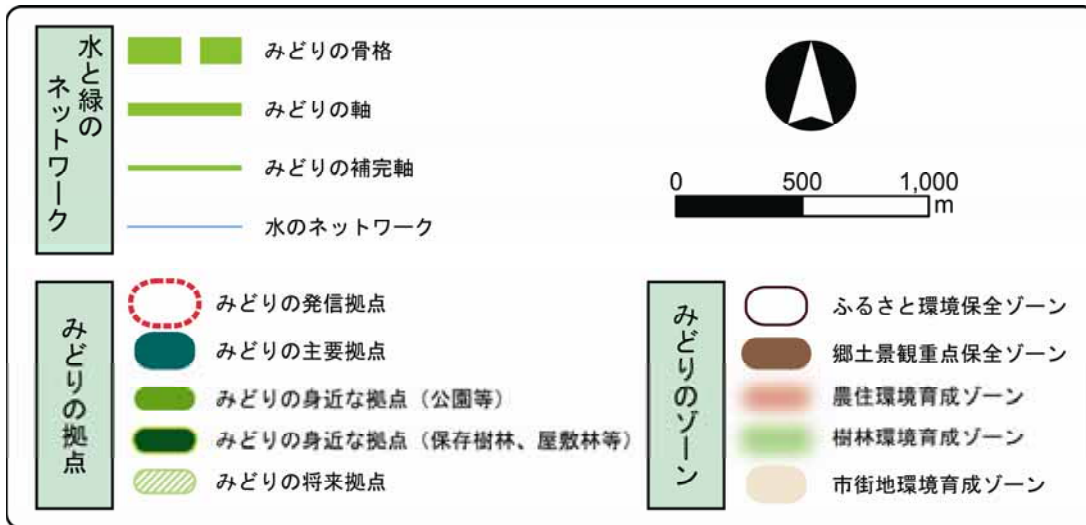
---

- 玉川上水と野火止用水に近接する公園等は、小平グリーンロードと一体となった利用が可能なように、再整備を行います。
- 地域内に残されている農地は、道路、公園等の整備にともなう市街化に調和した保全・活用を検討します。
- 既に形成されているみどり豊かな住環境の保全を図り、恵まれた自然環境を活かしながら、静かで落ち着いた環境の住宅地の形成をめざします。

# 東大和市駅周辺地区の将来イメージ



(承認番号) 21 都市基交第 524 号



## 8 緑化重点地区

都市緑地法では、重点的に緑化を図るべき地区を「緑化重点地区」として定めることができると規定されています。

小平市は市内全域が市街化区域であり、すべての地区で緑地の保全、公園の整備、緑化の推進が積極的に求められています。そのため、特定の地区を緑化重点地区せずに、市内全域を緑化重点地区と位置づけ、地区別計画に示したみどりの将来イメージの実現に向けて、みどりのまちづくりを進めています。



図 8-9 緑化重点地区位置図





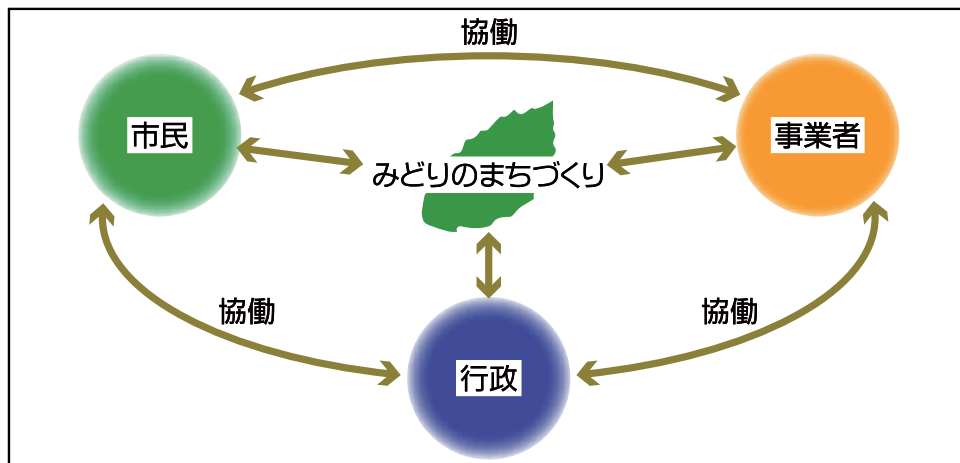
## 第9章 計画の推進に向けての取り組み

みどりの基本計画を具体的に進めていくにあたって必要となる、事業推進体制の強化と、計画の進行管理について示しました。

### 1 事業推進体制の強化

#### (1) 三者協働による計画の推進

本計画に基づき、みどりをつなげ、いつくしみ、ふやし、そだて、いかしていくには、市民、事業者、行政が、それぞれの立場から主体的にみどりのまちづくりに取り組むことが必要です。これから設立を予定する市民連絡協議会等を核にしなが、啓発と支援、参加と協力の体制を確立し、三者協働により計画を進めることを重視します。



#### (2) 多摩六都、東京都、国との連携

小平市には、玉川上水、野火止用水、狭山・境緑道という、近隣市とつながりのある、広域的な機能を担っているみどりがあります。このような重要な役割を果たしているみどりを、さらにより良いみどりとしていくために、多摩六都をはじめとする近隣市、東京都、そして、国との連携を図り、市内だけにとどまらない取り組みを積極的に展開していきます。

また、東京都と区市町村が合同で策定する「緑確保の総合的な方針」において、今あるみどりの保全施策や土地の特性に応じたみどりの規制及び誘導策について調整を行います。

#### (3) 庁内体制の強化

本計画は、緑地の保全、公園の整備、市の施設におけるみどりの質の向上といったものだけではなく、歴史的・文化的な資源の保全と活用、農地の保全、景観の保全と育成、市民活動への支援など、多方面の分野がかかわっています。施策を計画的・体系的に講じることにより、その効果をより高めることが有効なことから、市役所内部での横断的な推進体制の確立が不可欠です。

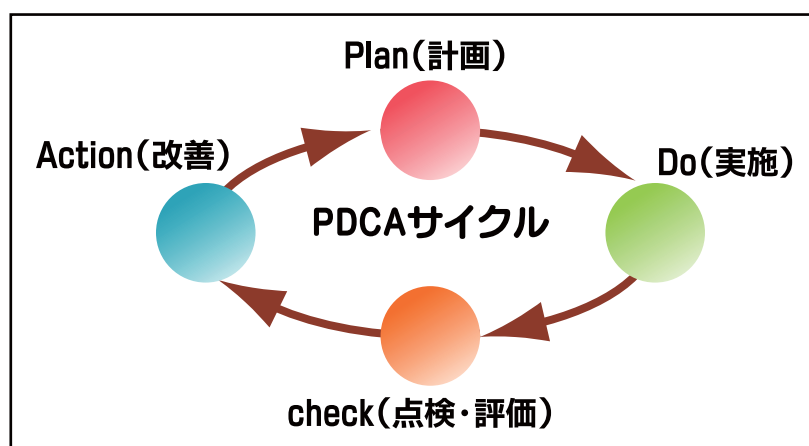
これまで、庁内調整会議等で取り組んできましたが、今後はさらにこの体制を強化し、計画的に事業の展開を図っていきます。

## 2 計画の進行管理と中間見直し

### (1) PDCA サイクルによる順応的な対応

本計画の事業期間は 10 年ですが、社会経済情勢の変化のスピードを考えると、本計画の内容を固定したものとして進めることは適切ではありません。計画を効率的・効果的に進めていくには、常に施策の展開の効果を点検・評価し、施策を取り巻く環境条件の変化に対して、すばやい対応が求められます。

このため、施策実施後の点検・評価と改善を重視した、PDCA (Plan Do Check Action) サイクルを繰り返しながら、計画の推進を図っていきます。



### (2) 実施状況の点検・評価

みどりのまちづくりに関する施策について、毎年度の施策の進捗状況について点検・評価を行います。特に、重点施策に設定した内容を中心に、達成状況や実施状況を点検・評価し、必要に応じた見直しを行います。さらに、上位計画や関連計画の改定、法制度等の変更など、本計画を取り巻く状況が変化した場合にも適切な対応を図っていきます。

### (3) 中間年次における評価と中間見直し

みどりの実態の変化の把握、施策の進捗状況への対応、後半 5 年間の適切な施策の推進のために、前期が終了した後の平成 26 年 (2014 年) に、緑被率などのみどりの現況調査を実施するとともに、施策の実績を評価して、小平市みどりの基本計画 2010 の中間見直しを行うことを予定します。

年度	平成22年 (2010年)	平成23年 (2011年)	平成24年 (2012年)	平成25年 (2013年)	平成26年 (2014年)	平成27年 (2015年)	平成28年 (2016年)	平成29年 (2017年)	平成30年 (2018年)	平成31年 (2019年)
	前期				中期			後期		
点検・評価		●	●	●	●	●	●	●	●	●
中間見直し					●					

